

たんぽぽ

(一般社団法人) 障がい児成長支援協会
協会通信 (文: 山内) No. 31 (2月号)
平成30年2月19日発行

たからもの みんなでつくろう いっしょ いっしょ

経営者交流会を開催します

協会会員の経営者の皆様から、「研修というかたい形ではなく、気軽に経営者が集って意見交換できる場が欲しい。」と言われていました。そこで、今後、春、夏、秋、冬の年4回を目安に「経営者交流会」を開催することにしました。第1回は、「複数施設を経営・展開するポイント」と「新年度に向けての対策」等をテーマに集えたらよいと考えています。ぜひお申し込みください。

《第1回経営者交流会(協会会員限定)》参加費無料 ※行政書士の帯山先生も参加予定です

内容:『三年間で5店舗展開の「ココトモ」さんの実践経営事例をもとに交流会』

名古屋開催・・・3月4日(日) 15時～17時30分 場所 金山ネットアーツ会議室

(住所: 名古屋市中区金山一丁目14番18号A-PLACE金山8F) 定員20名

※18時から、会場を変えて『夜の交流会』も開催します。当日参加を呼びかけます。

《3月の研修のご案内》※大好評! 田中先生の職員研修会開催 協会会員限定無料

前回大好評であった田中先生を再度お招きして、『障がいのある子どもの自己肯定感を高める集団療育』と題して「構成的グループエンカウンターの実例研修」を行います。SSTとは違った専門的な内容を、わかりやすく具体的に事例を交えて学べる機会となっています。ぜひお申し込みください。《※定員を超える参加が予想されます。定員になり次第締めきらせて頂きます。》

※詳しくは、別添資料をご覧ください。

(1) 岐阜会場・・・3月6日(火) 10時～12時 (限定35名) ※駐車場多数有り

《場所》障がい児成長支援協会本部会議室

《住所》岐阜市西鶉一丁目31番地ZOAビル4階会議室(事務局横)

(2) 名古屋会場・・・3月7日(水) 10時～12時(限定20名) ※駐車場有

《場所》「グローアップ岡崎上地」の施設内です

《会場》愛知県岡崎市上地3丁目5-2

※田中先生は、現在格安で全国を廻って各施設の職員研修会を行っています。ぜひご希望の施設は、直接田中先生と名刺交換していただき、研修会講師として利用していただくとよいかと思ひます。

山内協会長の学校心理士資格証と教員免許状のデータをお渡しします。

山内の学校心理士認定証と教員免許のデータを添付します。各施設で掲示したい場合は、協会会員の施設に限って無料で掲示を許可いたします。また、パンフレット等に山内の写真を掲載したい場合も、協会会員は無料で使用できます。「施設の顧問」や「療育アドバイザー」等の肩書きでパンフレットに掲載するだけで他の施設との差別化が図れます。ぜひご利用ください。

第1回経営者交流会申込用紙

3月4日（日）15時～17時30分

場 所：金山ネットアーツ会議室

※経営者だけでなく幹部職員の参加も大歓迎です。

参加者氏名①：_____

参加者氏名②：_____

会社名（施設名）_____

代表者携帯番号_____

協会FAX058-213-0313（担当：服部）

※緊急時の連絡先 070-1610-2299（協会長 山内）

FAX 締め切り：3月1日(木)18:00まで

田中先生の研修会申込用紙

申込みを希望する日にちの□にチェックをいれてください。

3 / 6 日 (火) 岐阜会場 3 月 7 日 (水) 名古屋岡崎

※多くの事業所の協会会員の参加をしていただくため、各事業所で3名までとさせていただきます。

参加者氏名①：

参加者氏名②：

参加者氏名③：

会社名（施設名）

代表者携帯番号

協会 F A X 0 5 8 - 2 1 3 - 0 3 1 3 （担当：服部）

※緊急時の連絡先 0 7 0 - 1 6 1 0 - 2 2 9 9 （協会長 山内）

FAX 締め切り：3月2日(金)18:00まで

障がいがある子どもの自己肯定感を高める集団療育
～構成的グループエンカウンターを通して～

下記のようなことを口にする子どもたちがいませんか？

- やってもうまくできないからやらない…
- わたしみんなから嫌われてるの…
- ぼくなんていなくなってもだれも悲しまないよ…
- 言っても聞いてくれないってわかってる…
- やってもつままないに決まってる…

とにかく言うこと為すことが後ろ向き。

上記のような発言の直前に共通してくつつくキーワードは『どうせ…』

自己肯定感の低い子どもたちには、このような言動が多くみられます。

障がいがあるがゆえに、学校や社会で他と比べられ、できないところばかりがクローズアップされてしまう現実への子どもたちの悲痛な叫びとサインです。

この研修では、障がい児の専門機関である放課後等デイサービスで、上記のような子どもたちが自己肯定感を高めることができる集団療育のひとつについて学びます。

集団は、他者を見ることによってよりよい行動を学んだり、他者と触れ合うことによって苦手な人間関係を学んだり、他者から認められることによって自分自身を肯定的に感じたりできるなど、大きな効果があります。そして、集団での活動に苦手さをもつ障がいがある子どもたちでも、活動に安心して参加できる枠組みを構成することによって、集団療育がしっかり成立します。これが、今回研修で取り上げる**構成的グループエンカウンター (Structured Group Encounter:SGE)**なのです。

この研修では、この集団療育をうまく活用し、次のような子どもたちの姿を目指します。

- わたしにもいいところが意外とあるんだ！
- 自分のこと、好きだな！
- まずはやってみればできそうな気がする！
- がんばれば、みんなが応援してくれそう！

これらの発言に共通してくつつくキーワードは、『きっと・・・(できる)』

自分自身をしっかり認め、励まし、自分のことが好きになった子どもたちは、今後待ち受けるさまざまな困難にもくじけることなく前向きに取り組んでいくことができることでしょう。

自己肯定感を育てる集団療育を提案



田中 聡 (たなか さとる)

人財育成コンサルタント

(合同会社サンクスシェア代表社員)

- ・元小学校教諭
- ・障がい福祉サービス支援員
- ・障がい児者相談支援専門員



<https://smapon.jp/yra3m14h>

プロフィール

1 小学校教諭 20年

福岡県教育センターにて教職員の研修事業に従事

小学校新規採用教職員の初任者指導教員を複数回経験

現職教員中に鳴門教育大学院にて修士(心理学系)を取得

(修士論文: 構成的グループエンカウンターを取り入れた教育プログラム)

2 障がい福祉サービス事業所 10年

知的障がい者施設(社会福祉法人)でのサービス管理責任者・管理者経験

特別支援学校放課後等支援事業責任者経験

委託相談支援事業所での相談支援主任コーディネーター経験

3 合同会社サンクスシェア代表社員

指定特定相談支援事業所(障がい児・障がい者)相談支援専門員

人財育成コンサルタント(放課後等デイサービス16事業所と契約中)

強度行動障がい勉強会主催(強度行動障がい者グループホームにて直接支援中)

福岡福祉向上委員会事務局員

西日本心理劇学会会員

教師経験20年を経て、障がい者支援及び障がい者相談員を計10年経験し、平成28年4月、福祉に携わる職員の人財育成の仕組みづくりを目的に合同会社サンクスシェアを起業。教員時代の人の成長に関わる経験に加え、障がい児者支援の直接経験(現在も継続中)、さらには、障がい児者の相談業務に携わる経験をもとに、障がい児の成長支援について、子どもから大人を見通し、総合的にコーディネートするとともに、その支援に携わる福祉職員の人財育成を同時に進めていくスタイルを持ち味とする。

研修の主な内容

【ポイント① 構成的グループエンカウンターをなぜやるの？】

子どもたちの自己肯定感を高めるにあたり、なぜ構成的グループエンカウンターが有効なのでしょう？

- ・ 構成的グループエンカウンターって何？
- ・ 構成的グループエンカウンターのねらいは？
- ・ 構成的グループエンカウンターのプログラム構成は？

などなどを紐解きながら、構成的グループエンカウンターの基本的な考え方を学び、子どもたちの心に響く集団療育の原理原則に迫ります。

Key Word : 構成的

【ポイント② 構成的グループエンカウンターをどのようにやるの？】

構成的グループエンカウンターを実施、進行するのは私たち支援者です。

どんなに選りすぐられたプログラムが用意されていたとしても、それを実施する進行役や補助者のやり方が今一步であれば、せっかくの集団療育の効果も半減してしまいます。

ここでは、集団療育を適切に進めていくための留意点を押さえながら、人の育成に携わる支援者としての心構えも学びます。

私たち支援者は、放課後等デイサービスを利用する子どもたちにとって、『人』としてのモデルであり、私たち支援者のすべての言動は、常に子どもたちから見られています。

構成的グループエンカウンターを実施する進行役は、どのような『人』であるべきなのでしょう？ 構成的グループエンカウンターの実施手順を学ぶとともに、子どもたちのモデルとしての支援者像にも迫ります。

Key Word : 自己開示能力

【ポイント③ 構成的グループエンカウンターをやってみよう！】

どのようなプログラムが、子どもたちの自己肯定感を高めるのでしょうか？

講師が厳選したいくつかの構成的グループエンカウンターを紹介しながら、参加者のみなさんとともにエクササイズ（実際のプログラム）を実際に展開してみます。

人の行動変容には、感情・思考・行動の3つのスイッチがあると言われてますが、子どもの気持ちになり替わり、実際に行動してみることによってさまざまな気づきが生まれることでしょう。行動のスイッチを押すことにより、感情と思考にも変化が表れることを実体験してみましよう。

Key Word : 自己肯定感

今回の研修は、理論と実践の2つの側面をバランスよく取り入れて構成しています。

「なぜその支援は必要なんだろう？」「なぜその活動は重要なんだろう？」と、その意味や意義を頭で考えるとともに、実際にやってみながら体で考える研修となっているところが特長です。

ぜひ、動きやすい服装、履き物でご参加ください。日頃のストレス発散もできるかも？(^^)!